

【1級・解説】

リスニング

PARTE IV (N13 – N16)

N13 b 【正答率】83.7%

F: Chiediamo innanzitutto al nostro esperto perché per la raccolta dei funghi non si deve far uso di sacchetti di plastica, bensì di panieri, di cestini di vimini intrecciato...

M: È presto detto: è questione di rispetto della natura. Come è noto il fungo, anche dopo essere stato raccolto, continua a disseminare le sue spore, per mezzo delle quali si riproduce. Il sacchetto di plastica impedisce alle spore di fuoriuscire e raggiungere il terreno, mentre invece il cesto intrecciato, il cui fondo è pieno di aperture, lo permette.

【訳】(女)まず最初に、私たちの専門家に質問しましょう。どうして、キノコ採りには、ビニール袋を使用するべきではなく、パンかごや、籐を編んだかごなののでしょうか……。 (男)それは簡単に説明されます。自然への配慮の問題です。ご存知のように、キノコは採られた後も胞子を撒き続け、それによって繁殖します。ビニール袋は胞子が外に出て、地面に達するのを妨げます。一方それに対して、編みかごは、その底が隙間だらけですから、それを可能にします。

キノコが採られるべきでないのは:

- a) 胞子を出している時
- b) ビニール袋を用いて
- c) 籐かごを用いて

N14 b 【正答率】88.0%

M: Di certo il bacio non è stato inventato dal cinema, ma è il cinema che ha contribuito a farlo diventare un mito, qualcosa di grandioso, un protagonista di primo piano al pari degli attori dei film. Il grande schermo lo ha reso un simbolo, molto distante

dalla vita reale, dove spesso è goffo, sciatto, così lontano dalla perfezione cinematografica.

【訳】(男)確かにキスは映画によって発明されたのではありませんが、それを一つの神話とするのに、何か偉大なものとするのに、映画俳優と同等にクローズ・アップされる主人公とするのに、貢献したのは映画です。大きなスクリーンはそれを一つのシンボルとして、現実の生活から懸け離れたものになりました。そこでは、それは不器用で不恰好で、映画の中の完璧さから程遠いことがしばしばです。

映画は:

- a)キスを発明した
- b)キスを一つの神話とするのに貢献した
- c)キスを完璧さから遠ざけた

N15 b

【正答率】65.2%

M: Tra gli astronauti selezionati dalla NASA per il viaggio su Marte nel 2020 c'è anche John Grimaldi, di origini italiane. Il padre Luigi, nativo di Napoli, era ancora molto piccolo quando con la sua famiglia emigrò a New York, negli anni Cinquanta. Lì in seguito conobbe Janet, figlia di emigranti provenienti dall'Irlanda, e dal loro matrimonio nacque John. Ragazzo brillante e studente modello, John è sempre stato l'orgoglio di papà Luigi, con il quale comunica solo in napoletano, anche se, chissà perché, lui nella terra paterna non ha ancora mai messo piede. "Rimedierò subito" ha dichiarato l'astronauta, promettendo di visitare Napoli prima del suo volo spaziale.

【訳】(男)2020年の火星への旅のためにNASA(アメリカ航空宇宙局)によって選ばれた宇宙飛行士の中に、イタリア系のジョン・グリマルディもいます。その父ルイージはナポリの生まれで、50年代にニューヨークへ家族とともに移住した時、まだとても小さい子供でした。そこで、その後、彼はアイルランドから来た移民の娘ジャネットと知り合い、その2人の結婚からジョンが生まれました。利発な子で模範生だったジョンは、いつもルイージ父さんの自慢でした。彼は父とのコミュニケーションにナポリ弁だけを使って

いるものの、どういう訳か、父の故郷にまだ一度も足を踏み入れたことがありません。「すぐに埋め合わせるつもりです」と、宇宙飛行士は明言し、彼の宇宙飛行の前にナーポリを訪れると約束しました。

ジョン・グリマルディが生まれたのは：

- a) イタリアで
- b) アメリカで
- c) アイルランドで

N16 c

【正答率】76.1%

F: Sentiamo in proposito cosa ci dice l'esperto.

M: L'ortopantomografia, o radiografia panoramica delle arcate dentarie, è una tecnica radiografica che ci permette di ottenere un'immagine completa – “panoramica”, appunto - dei denti, delle arcate dentarie, delle ossa mandibolari e mascellari e dei seni mascellari, su un'unica pellicola radiografica...

【訳】(女)それに関して、専門家が私たちに何を仰るのか聞きましょう。(男) オルソパントモグラフィー、言い換えると、歯列弓のパノラマ X 線撮影は、歯と、歯列弓と、下顎および上顎の骨と、そして上顎洞の全体の、まさに「パノラマ」の画像を、一枚の X 線フィルムの上に出力することを可能にする X 線撮影法です……。

話している人の専門は：

- a) 写真
- b) 建築
- c) 歯科学

PARTE V (N17 – N22)

Primo ascolto (N17 – N19)

F: Mia cugina si sposa la prossima settimana e io non ho ancora deciso cosa indossare. Ho un vestito bianco molto carino, ma mia zia dice che non posso assolutamente metterlo.

M: Beh, scusa Paola, però questo lo so anch'io: il bianco è riservato alla sposa!

F: E chi lo dice?

M: Lo dice l'etichetta, scusa! E anche un po' di buonsenso.

F: E allora anche tu pensi che non posso neanche vestirmi di viola perché porta male, di rosso perché è troppo appariscente... Vietato anche il nero perché... non mi ricordo più neanche perché, ma va bene, non importa!

M: (risata) No, no, io mi fermo alla regola del bianco. È molto esigente tua zia!

F: È una grande scocciatrice, critica tutto e tutti e non la soddisfa mai niente. Poverina mia cugina, sarà impazzita con la scelta del vestito e tutto il resto!

【訳】(女)私のいところが来週結婚するのに、私はまだ何を着るか決めていない。とても可愛い白のドレスを持っているけど、おばが言うの、それを絶対に着てはいけないって。(男)うん、パーオラ、悪いけどね、それは僕でも知っている。白を着ていいのは花嫁だけだ！(女)誰がそれを言っているの？(男)それを言っているのはエチケットだよ、悪いけど！ それと少しの常識も。(女)それなら、紫も不幸を招くから、赤も目立ちすぎるから、私は着てはいけないと、あなたも思っているのね……。黒も禁止、なぜかというけど……。もう、なぜかも覚えていないけど、いいわ、大したことじゃない！(男)(笑い声)いやいや、僕は白のルールにとどめておく。とても要求が多いね、君のおばさんは！(女)人をうんざりさせる名人よ。何であれ誰であれ批判して、決して何も彼女を満足させない。かわいそうな私のいとこ、ドレス選びやその他のことで、気が変になっているかも！

N17 a 【正答率】87.0%
【訳】男性の意見では、パーオラは白い服を着るべきではない

N18 b 【正答率】73.9%
【訳】パーオラは黒い服を着たくない

N19 b 【正答率】39.1%
【訳】パーオラは、彼女のいところが決して満足しない性格だと思っている

Secondo ascolto (N20 – N22)

M: Dai, smetti di leggere e usciamo! Con questa splendida giornata...

F: Sì, vengo subito. Lasciami solo finire la pagina, e poi andiamo.

M: Sempre a leggere... Ma non ti fanno male gli occhi?

F: Ti ho detto che vengo subito! Lo sai tu cosa ha detto una volta Umberto Eco? Che chi non legge, a 70 anni avrà vissuto una sola vita: la propria. Invece chi legge ne avrà vissuti 5000 di anni!

M: 5000 anni? E perché?

F: Perché leggendo avrà viaggiato nel tempo! Sarà stato testimone di eventi lontani. Sarà stato presente quando Renzo e Lucia si sono finalmente ritrovati, al tempo de “I promessi sposi”; addirittura quando Caino uccise Abele. Dice una cosa bellissima, che la lettura “è un’immortalità al passato”.

M: Beh, sì, devo ammettere che come idea è carina... Ma ora andiamo, dai, donna immortale! Ci facciamo una bella passeggiata. Arriviamo in cima al poggio e poi torniamo indietro passando dalla casa dei Fontani. Ti va?

【訳】(男)ねえ、本を読むのをやめてよ、出かけよう！この素晴らしい日和に……。 (女)ええ、すぐ行く。ただ、このページは読み終えさせてね、それから出かけましょう。(男)いつも本を読んで……。でも君は目が痛くならないの？(女)すぐ行くって言ったでしょう！あなた知ってる、以前にウンベル

ト・エーコが何て言ったか？ 本を読まない人は、70 歳のとき、ただ一つの人生、つまり自分自身の人生だけを生きることになる。それに対して本を読む人は、5000 年は生きることになる！（男）5000 年？ それはどうして？（女）本を読むと、時間を旅したことになるからよ！ 遠い昔の出来事を目撃者だったことになるの。『いいなずけ』の時代、レンツォとルチアがついに再会した時に居合わせたことになるし、カインがアベルを殺した時にさえも。彼はとても素敵なことを言っているのよ、読書とは「過去における不滅である。」（男）うん、そうだね、考え方としては結構なもの認めなければならない……。でも、出かけよう、ねえ、不滅の女性！ 素敵な散歩をしよう。丘の頂上まで行って、それからフォンターニさんの家に寄って、戻ってこよう。いいかい？

N20 b **【正答率】95.7%**

【訳】女性は本を読みすぎたので目が痛い

N21 b **【正答率】75.0%**

【訳】女性の意見では、本を読むことは健康によく、それゆえ寿命を延ばす

N22 a **【正答率】90.2%**

【訳】男性は女性と一緒に素敵な散歩をしに行きたくてたまらない

N32/33

【訳】家で何回もの盗難に遭った後、ジャンニは優れた警報システムを設置してもらうことに決めた。

N32 b 【正答率】92.4%

【解説】接続詞 *dopo* の後に、動詞の不定詞の複合形 (*avere* + 過去分詞または *essere* + 過去分詞) を置くと、「～した後」を意味し、文脈に合うので、b) が正解です。なお、*dopo* の後の助動詞 (*avere* または *essere*) が省略されるのは、*dopo mangiato* 「食べた後」や *dopo sposato* 「結婚した後」など、主に身近な、特定の事柄に限られるので、c) は不適切です。

N33 d 【正答率】58.7%

【解説】「～させる」を意味する使役の構文 (<*fare* + 不定詞) で、他動詞 *installare* 「～を設置する」が使われています。不定詞の他動詞が直接補語を伴うとき(ここでは「警報システム」、動作主(不定詞の意味上の主語)は <a + 人> か <da + 人> によって示されますが、ここでは省略されています(敢えて言うなら、警報システムを設置をする「業者」となるでしょう)。再帰代名詞の *si* は、使役の構文で用いられると、不定詞の直接補語にも間接補語にもなります。ここで *si* を間接補語として、「ジャンニ自身のために」という意味で使うと、文脈に合います。よって、正解は d) です。

N34/35

【訳】エオーリエ諸島はイタリアで最も魅力的な場所の一つに違いない。そのように、少なくとも、そこを訪れた人たちの多くは言う。

N34 a 【正答率】42.4%

【解説】文脈から、「少なくとも」を意味する、*almeno* の a) が正解です。なお、同様の意味の語句として、*perlomeno* や *quanto meno* があります。

N35 c 【正答率】56.5%

【解説】先行詞を含む関係代名詞 *quanti* は、3人称複数の動詞を伴って、「～する人たち」を意味し、文脈に合います。ただし、ここでは後に置かれた

関係代名詞 **che** が余分なので、**d)**は不適切です。関係代名詞 **che** を使って **quanti** を言い換えるならば、先行詞として「(特定されない、一般的な)人たち」を意味する **coloro** を使うことができます。したがって、**c)**が正解です。なお、**a)**の **essi** と **b)**の **loro** は、「(既に話題になった、特定の)人たち」を表すので、文脈に合いません。

N36/37

【訳】「フェデリーコが 70 年代のイタリアの刑事物映画の大ファンだって、君は知ってた？ それを何百本も観たらしいよ！」「どんなに彼の気持ちが分かることか！ 私も大好きなんだ、特に、偉大なマウリーツィオ・メルリの出ているものが！」

N36 d

【正答率】71.7%

【解説】男性名詞 **centinaio**「(約)100」を複数にすると、**centinaia** という女性名詞になります。成句〈**a centinaia**〉は「何百も、数多く」を意味し、文脈に合うので、**d)**が正解です

N37 b

【正答率】66.3%

【解説】4つの選択肢のうち、**c) Quando**と**d) Dove**は、文脈に合いません。残る2つのうち、副詞として、動詞 **capire**「分かる」を修飾できるのは **Come** だけですので、**b)**が正解です。

N38/39

【訳】「試験がとても難しいと人は言ってるけど、私たちはとても勉強したので、きっと問題なく合格するよ。」「どうかな、僕はほとんど信じてないけど！」

N38 c

【正答率】77.2%

【解説】接続詞句〈**dal momento che**〉は、「～なので」を意味し、原因節を導きます。ここでの文脈に合うので、**c)**が正解です。

N39 c

【正答率】70.7%

【解説】間投詞 **mah** は、話し手の疑いや不信を表します。副詞 **troppo** を **non** で否定すると、「あまり～ない、ほとんど～ない」を意味し、文脈に合うので、**c)**が正解です。

N40/41

【訳】ピアノのもともとの着想が、あるイタリア人、パードヴァ出身のバルトロメーオ・クリストーフオリによるものだ、ということを知っている人は多くない。

N40 b 【正答率】40.2%

【解説】構文〈essere in molti a + 動詞の不定詞〉で、「～する人は多い」を意味し、文脈に合うので、b)が正解です。

N41 c 【正答率】20.7%

【解説】構文〈dovere + ～ + a + 人・事物〉は、「～は人・事物によるものだ、～は人・事物のおかげだ」を意味します。ここでは、他動詞 *dovere* に受動の *si* が付いて、もともと直接補語だった「着想」が主語になることで、文脈に合うので、c)が正解です。なお、a)の他動詞 *attribuire*「(業績・作品を)～によるものとする」は、c)の *dovere* と同じように、受動態 *si attribuisce* とすれば、文脈に合います。b)は前置詞を変えて、*è opera di* とすれば、「～の業績・作品だ」という意味になり、文脈に合いません。d)の他動詞 *riguardare*「～に関わる」は、直接補語をとるので前置詞 *a* が不要ですし、意味的にも文脈に合いません。

N42/43/44

【訳】「女性の心の奥底に何が秘められているのかは、誰にも決して分からないだろう！」「それを君は声を大にして言っている。比類のない謎だ！」

N42 c 【正答率】90.2%

【解説】女性の心が、これまでも、これから、どのようにしても分からないという文脈ですので、否定を強める *mai*「決して～ない」の、c)が正解です。

N43 b 【正答率】70.7%

【解説】前の文の内容を受ける、性・数と無関係な(中性の)直接補語人称代名詞の *lo* が動詞 *dire* に付いた、*dirlo* の b)が正解です。なお、このフレーズは、話し相手の意見への賛同を表すための決まり文句です。

N44 a 【正答率】54.3%

【解説】男性名詞 *enigma* にふさわしい不定冠詞は *un*。a)が正解です。

【訳】約 1 万 8 千人が、さる日曜にヴェネーツィアで、大型船に反対する住民投票に参加した。意見調査(形式的ではあるが、強く政治的な意義を有する)に参加した市民の 98%が、クルーズ船のラグーナへの進入に反対の意を表明した。「今すぐ投票用紙を全て段ボール箱に詰めて、大臣のところへ持って行きます。彼はローマからヴェネーツィアの運命を決めようとしているのです。今回、政府機関が私たちに耳を傾けるかどうか見てみます」と、反対運動のリーダーの一人は言う。投票は、前述の通り、その意義が単に象徴的なものであるにもかかわらず、とても厳格に、全ての投票者の身元確認をしながら行われ、その結果は公式なものに近い。投票の効力の決定と、二重に投じられた票がないかの確認には数日かかるだろう。投票したのは 18,105 人で、ヴェネーツィア人の 80%に相当する(残りは「フォレストイ」、つまり外国人観光客)。結果はすでに明白だと、投票前から思われていたが、1 万 2 千人以上の投票者を期待していなかった主催者たち自身を、その規模が驚かせた。ラグーナに入る大型クルーズ船に反対と投票したのは 17,874 人で、98.72%にあたる。賛成の方に、つまり、「あなたは、大型クルーズ船がヴェネーツィアのラグーナの外にとどまって、ラグーナそのものの内側で新しい掘削が行われないことを望みますか？」という質問に、反対と意思表示をしたのは 180 人だけで、投票者の 0.99%にあたる。無効票あるいは白票は極めて少ない割合で、わずか 0.28%。「結果がこんな異例のものになるとは考えていませんでした」と、開催者たちは言う、「人々が行列を作って、私たちが 9 時から 18 時までの 9 時間のあいだに全員に投票させるのに成功したことを考えると、なおさらです。2012 年に署名を集めて行った請願で、私たちは 1 万 2 千人の賛同を集めることができましたが、それに 3 か月を要しました。」投票結果はヴェネーツィアおよびヴェーネト州の行政機関にも提出される予定だ。「私たちは投票の公式の結果をヴェネーツィア市長、ヴェネーツィア港湾長官、ヴェーネト州に持っていくつもりです。果たして彼らが目覚めるかどうか。」ヴェネーツィアでは、実際、全くの無関心というような状況で、総トン数が 4 万トンを超える船の通行を 5 年前に禁じた省令は、事実上、無視されている。「当時から何も変わっていません」と、住民投票の推進者たちは言う、「クルーズ会社は、大臣よりも、その法令よりも、町よりも、その住民よりも、町の人々の健康よりも、そして良識よりも、ずっと力があることを証明しました。」大型船は、実際、ボッカ・デル・リードから

入り、サン・マルコの前を通り、町に接岸し続けている。ヴェネーツィアにとって致命的な状況だ。「長さ 300 メートル、幅が 40 で、高さが 60 の化け物ですよ」と、彼らは言う、「4 階(日本では 5 階)よりも高い建物を造ることを調整計画が禁じている町で、7~8 階(日本では 8~9 階)のビルが運河を行ったり来たりするようなものでして、それは何百万立方メートルもの水を動かし、岸壁や家の基礎の浸食を引き起こすこととなります。さらにスクリューはラグーナの堆積物をかき乱します。空気を汚染する煙のことは言うまでもありません。」

(『イル・ファット・クオティディアーノ』紙、2017 年 6 月 19 日付記事に加筆)

N53 b 【正答率】55.4%

【訳】住民投票は地元の行政機関によって開催された

N54 b 【正答率】71.7%

【訳】開催者は住民投票の結果について確信を抱いていなかった

N55 a 【正答率】92.4%

【訳】これほど多数の参加を期待していなかった

N56 a 【正答率】89.1%

【訳】2012 年には 1 万 2 千人の署名を集めるのに 3 か月かかった

N57 a 【正答率】77.2%

【訳】5 年前、省令が大型船に対してラグーナ内を通過することを禁じた

N58 a 【正答率】57.6%

【訳】大型クルーズ船はヴェネーツィアのラグーナに入るにとどまらず、市内に停泊するに至っている

N59 b 【正答率】80.4%

【訳】ヴェネーツィアでは 7~8 階(日本では 8~9 階)のビルも建設される

PARTE IV

N60

【訳】歴史の記憶。あなたの意見では、ある国とその社会にとって、国の過去に関する意識を高く保つことは、どれくらい大切ですか？ あなたの意見を、何か例を挙げて理由付けしながら述べてください。(180 から 220 語の間で)

【模範解答例】 Ora che il mondo sembra andare così pericolosamente verso un'altra guerra simile all'ultimo conflitto mondiale, personalmente ritengo sia davvero di enorme importanza e un dovere fondamentale per noi giapponesi ricordare al mondo intero e a noi stessi le terribili vicende della seconda guerra mondiale e soprattutto il modo atroce in cui quella guerra si è conclusa per il nostro paese. Noi che siamo gli unici ad aver subito dei bombardamenti nucleari dobbiamo assolutamente essere anche gli ultimi ad aver subito una così drammatica esperienza, che ha distrutto due città meravigliose e tolto la vita in modo disumano a tanti di noi, che erano padri e madri, mariti e mogli, figli e figlie di tante altre persone. Morte e distruzione accompagnano tutte le guerre, in tanti luoghi del mondo, ma noi tutti abbiamo il dovere di fare tutto il possibile perché simili tragedie non si possano ripetere mai più. Dobbiamo batterci insieme per proteggere il futuro di tutti i bambini del mondo, non con le armi ma con l'intelligenza e l'amore universale. Insieme, per una pace perpetua. (180 parole)

【訳】いま世界がとても危険に、先の世界的な紛争に似た別の戦争へと向かっているように思われますので、個人的な意見として、私たち日本人にとって本当にとっても大きな重要性があり、また根本的な義務であると私が考えますのは、第二次世界大戦の恐ろしい出来事の数々、そして特にあの戦争が私たちの国にとって終結する時の残酷な方法を、全世界に、また私たち自身に思い出させることです。原爆の攻撃を被った唯一の国民である私たちは、絶対に、あのように悲劇的な体験を被った最後の国民ともならなければなりません。それは素晴らしい2つの町を破壊し、そして非人間的な方法で命を、父と母であり、夫と妻であり、他の多くの人々の息子と娘(子孫)であった、私たちの多くから奪ったのです。死と破壊が、世界の多くの場所で、全ての戦争に伴っていますが、私たちは皆、同じような悲劇がもう二度と繰り返されないように、できる限りのことをする義務があります。私たちは一緒に、世界の全ての子供たちの未来を守るため、武器ではなく知性と普遍的な愛をもって、戦わなければなりません。一緒に、永遠の平和のために。
(180 語)